

女性とジェンダーの歴史

第3号

2015.11

特集

- ヴィクトリア朝の「牧師館の娘」を考える
 — Midori Yamaguchi, *Daughters of the Anglican Clergy: Religion, Gender and Identity in Victorian England* をめぐって — (1)
- 19世紀の宗教的家族企業の娘たちの葛藤と模索 浮岳 靖子 (2)
- 『国教会牧師の娘たち』の魅力 金澤 周作 (5)
- 牧師館の女性たちの自己実現 — 書くこと、信仰、政治参加 — 市川千恵子 (8)
- 「ショーケース」のなかの人生
 — ヴィクトリア期国教会牧師館の葛藤と主体性 — 山口みどり (11)

研究ノート

- クリオール女性の脱植民地経験
 — 「西インド連邦」閣僚フィリス・オーフリー — 堀内真由美 (20)

学界動向

- 「女性、ジェンダー、教育」の歴史
 — イギリスにおける研究の到達点と課題 — 香川せつ子 (32)

第23回研究会の記録

- 田村 俊行、三井 淳子、林 葉子、佐藤 繭香 (43)

女性史の取り組み — 福岡からの情報発信

- 戦時体験集『あなたにバトン』をまとめて 井上 洋子 (48)

書評

- 長野ひろ子・姫岡とし子編著
 『歴史教育とジェンダー — 教科書からサブカルチャーまで』 山岸 裕子 (49)
- 梅垣千尋著
 『女性の権利を擁護する — メアリ・ウルストンクラフトの挑戦』 金澤 周作 (50)
- バーバラ・チェイス＝リボウ著 (井野瀬久美恵監訳、安保永子・余田愛子訳)
 『ホッテントット・ヴィーナス — ある物語』 奥田 伸子 (52)
- 館かおる著『女性学・ジェンダー研究の創成と展開』 木本喜美子 (54)
- シルヴィア・ヴァン・カーク著 (木村和男・田中俊弘訳)
 『優しい絆 — 北米毛皮交易社会の女性史 1670~1870年』 細川 道久 (57)
- T.C.ジェプセン著 (高橋雄造訳)
 『女性電信手の歴史 — ジェンダーと時代を超えて』 石井 香江 (59)
- 久留島典子・長野ひろ子・長志珠絵編
 『歴史を読み替える ジェンダーから見た日本史』 今田絵里香 (61)
- 川崎明子著『ブロンテ小説における病いと看護』 小川 公代 (63)

文献紹介

- G. Sutherland, *In Search of the New Woman, Middle-Class Women and Work in Britain 1870-1914* 八谷 舞 (65)
- M. Bogucka, *Women in Early Modern Polish Society, Against the European Background* 山内 桜子 (67)

研究情報

- 高田 実 (70)

イギリス女性史研究会